

# 事務局便り

令和5年10月13日



## —第73回研究大会 ハイフレックス型開催 盛会にて終了—

・オンライン参加99名、会場参加60名の合計159名の参加で盛会にて終了いたしました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。研究大会の内容については、機関誌3号に掲載しております。秋田喜代美先生にご講演の要旨をはじめ、校種別研修会での教科調査官 田邊暁子先生と元教科調査官 筒井恭子先生のご指導の要旨も掲載しました。参加された先生方の感想と併せて、ぜひお読みください。

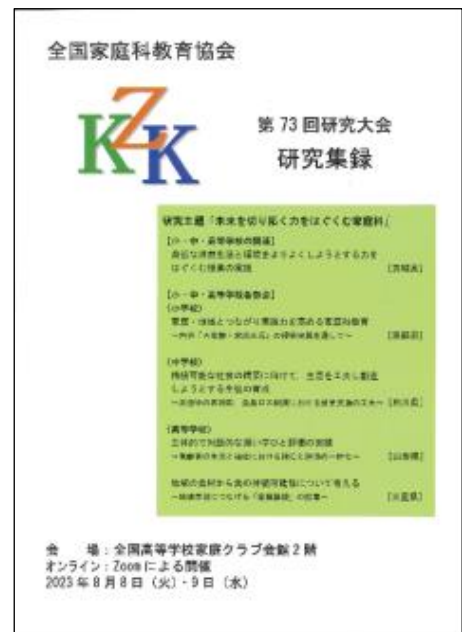
・参加者の皆様からお寄せいただいたアンケート結果は、本協会ホームページをご覧ください。概ね満足と回答をいただいておりますが、ご指摘いただいた点もありますのでその点を次年度に活かしてまいります。ハイフレックス型での開催は、研修会も含めると3回目です。昼休みのハイフレックス型理事会に挑戦するなど進化を続けております。役員一同で協力して運営をしてまいりました。今後も皆様からの意見を取り入れながら、参加したくなる研究大会・研修会を開催したいと思います。

・今年、理事会・総会を開催することができました。そして、**第73回全国家庭科教育協会研究大会 決議**を満場一致で採択しました。昨年に引き続き調理実習等の安全で衛生的な実施のための施設・設備の整備や少人数指導のための人的配置の要望と、今年新たに、教員免許更新制が廃止された状況下で**“公費負担による全国家庭科教育協会への参加を研修として認めていただくこと”**を要望しております。(機関誌『家庭科』3号p2をご覧ください)

・岩手県は、**高等学校教育研究会家庭・福祉部会の予算から5名の参加**をいただきました。教科研修の充実のために本研究大会の参加費への補助を部会総会にて決めていただいたおかげです。理事会において議長であった小松咲子先生から紹介がありました。(機関誌『家庭科』3号p21で紹介されています) このように各都道府県におかれましても、積極的に本協会の研修事業に参加できるよう、本協会決議文を活用して要望していきましょう。決議文は、本協会ホームページからダウンロードできます。

(メニューボタン「研究大会」内にあります)

・今大会での研究発表は、「研究集録」に収められております。年間指導計画をはじめとする参考になる資料が掲載されています。印刷所を変更した関係で、これまでよりお安く、**一冊1,000円(送料込み)**でお分けいたします。本協会ホームページの「出版物頒布」サイトよりお申込みいただくか、お電話メールにて事務局までご連絡ください。



## —第74回研究大会 開催日 予定に入れてください!—

参加者アンケートをうけ、令和6年度の第74回研究大会について検討し、現在のところ以下のように予定しております。ご参加をお待ちしております。

開催日：令和6年8月6日(火) 7日(水)の2日間

方法：ハイフレックス型開催 会場：家庭クラブ会館2階

## 一研究調査へのご協力をお願いします！一

研究調査部では、「家庭科における GIGA スクール構想での ICT 活用に関する調査」を企画いたしました。別紙「調査依頼書」をご覧になり、調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、ホームページからも回答できますのでご利用ください。

## 一令和 5 年度春期研修会の開催について一

本年度の春期研修会は、以下のように決め、準備をしております。次号の機関誌 4 号送付時に詳しいご案内をいたします。どうぞご期待ください。

令和 6 年 3 月 26 日（火） ハイフレックス型開催 会場：家庭クラブ会館 2 階

## \* シリーズ～全国家庭科教育協会の歴史（3）創立当時の運営 ③振興資金募集 ークラウドファンディング?! 元金は返済!! ー

掛図の販売や計量カップなどの販売で、運営資金を獲得していたことをこれまで紹介してまいりました。さらに、大きく発展するために、右下に示す通り「全国家庭科教育協会振興資金募集」を行っておりました<sup>1)</sup>。この資金は、一口 300 円で「資金は一時的借用であって二年以後には漸次元金は返済致す予定」とあります。貨幣価値はよくわかりませんが、当時の年会費一人 10 円から考えて、一口 300 円は現在の価値では 10 万～20 万円ではないかと想像されます。機関誌「家庭科」11 巻 3～5 号

「創立十周年記念号」（1961 年 5 月発行）には、昭和 26（1951）年 7 月に約 20 万円（約 670 口）集まったと記録され、同年同月「振興資金により先ず生活改善の一助として調理用標準カップ（200 cc）スプーン（15 cc 5 cc）の制定をし、業者に依頼してメラミン樹脂で作成販売させた。」とあります。集まった 20 万円で、計量カップ・スプーン等を三越百貨店に製造を依頼して作り（前号図中より）、全国の学校に配布するとともに、市販することで利益を上げたと推察されます。そして、2 年後の昭和 28（1953）年 9 月に「振興資金の返済」とあり、当初の計画通り一時的に借用した一口 300 円を返済しています。また、広告の下にもあるように「児童用ワークブック」を作り販売もしていたようです。

その他、学校家庭クラブ（FHJ）の活動を活発にする様々な企画のためにこの資金は使われたようです。次回から学校家庭クラブとの関連について見ていきたいと思ひます。

### 全国家庭科教育協会振興資金募集

昭和二十五年三月、全国家庭科教育協会が発足してから既に一年余、全国の熱意ある皆様の御協力を得て今日まで発展の一路をたどつて参りました。然しさらに積極的に家庭科教育の発展向上を目指して種々の企画をたてても、さて実施の段になりますと、何と云つても先立つものは資金でございます。現在の一人拾円の年会費を以つては、到底その希望を達することが出来ませんので、別項のような家庭科教育振興の計画も残念ながら手をつかっているより外ございません。それにつき理事等に於て種々協議を重ねました結果、全国家庭科教育に深い理解をもたれる全国の方々から、左の要領で資金を拝借致すことに決定、既に東京に於ては募金をはじめ非常に意気込んだ声援を得ております。勿論別記の通り資金は一時的借用であつて二年以後には漸次元金は返済致す予定でございます。種々御都合もあられる事と存じますが何卒右趣旨に御賛同の上一人でも多く御協力下さいませます。御願い申し上げます。

一、目標額 二百万円  
二、借入期間 二年間漸次返済  
三、返済先 協会の本部及び事務所設置、事務員雇傭  
四、協会の本部及び事務所設置、事務員雇傭  
五、協会の本部及び事務所設置、事務員雇傭  
六、協会の本部及び事務所設置、事務員雇傭

一、機関紙発行（相当頁数のあるもの）  
二、教材器具の研究 展示 販売 贈送  
三、遊具の製作販売 ①計量スプーン及び計量カップの規格制定と販売、②ワークブック  
三、学校家庭クラブ（FHJ）に關して  
①歌曲選定、②F.H.J.の歌曲入りレプロン、布巾等の販売、③F.H.J.のバツジ及び花の全国賽  
集と選定、④F.H.J.のマーク入りレプロン、布巾等の販売  
四、新年の日の成人の日等、年中行事用カードの図案募集と販売  
五、協会の本部及び事務所設置、事務員雇傭

一、役員 顧問 顧問 顧問  
二、役員 顧問 顧問 顧問  
三、役員 顧問 顧問 顧問  
四、役員 顧問 顧問 顧問  
五、役員 顧問 顧問 顧問  
六、役員 顧問 顧問 顧問

一、役員 顧問 顧問 顧問  
二、役員 顧問 顧問 顧問  
三、役員 顧問 顧問 顧問  
四、役員 顧問 顧問 顧問  
五、役員 顧問 顧問 顧問  
六、役員 顧問 顧問 顧問

### 児童用ワークブック

「お金が借せない時はどうするか」との声がありますが、仕事は確実に計画して居りますので御借しは出来る予定です。

のぞましい  
**家庭生活学習**  
五（六年）下  
山本ヤク先生 編修  
山本武田先生 編修  
美しい絵  
全国家庭科教育協会  
菊版32頁 定価25円  
送料2冊まで8円

（7）

1) 全国家庭科教育協会 機関誌「家庭科」No.10~11 昭和 26（1951）年 10 月 1 日発行 機関誌「家庭科」アーカイブ